

衛生

火葬場の改修について

川村多美男議員

問 本町の火葬場は老朽化が著しい。家族が望めば町外での火葬が行えるか。

答 火葬については、法律に基づいて市町村長の権限になっている。火葬場所については家族等が火葬する市町村に届け出れば許可される。

問 火葬場の補修計画を予定されているが、外装、内装の内容は。

答 今回は炉の改修を考えている。予算がついた段階で内装等も含めて対応、検討したい。

公営施設のトイレに手のジェット式乾燥機設置を

深見 迪議員

問 町の公営施設内トイレの設備について、手を洗ったあとの設備がさまざまである。ういず、病



役場に設置されているジェット式乾燥機

院、ふれあいセンター、役場庁舎には手のジェット式乾燥機が設置されている。

しかし、開発センター、公民館分館、勤労者会館などは手のジェット式乾燥機が設置されていない。不特定多数の人たちが利用する設備としては、さまざまな感染症のことを考えれば新型インフルエンザの対応も含めて設置すべきと考えるがどうか。

答 基本的には個人で手洗いをしてハンカチ等で拭くのが一番だと考

える。ジェット式乾燥機は、飛散するとか、電気の消費でグリーン政策に反しているとかさまざまな問題を抱えていて、役場内でも議論、検討しているところだ。

問 今後検討課題にしていくということか。

答 インフルエンザを防ぐ問題を含めて、役場だけでなく町民や各委員会の意見も聞き検討していきたい。

労働

緊急雇用の創出はどんな内容か

平川 昌昭議員

問 北海道の基金の造成と本町の負担はどうか。

答 緊急雇用創出推進事業の基金は九十億二千万円となっているが町の負担は発生していない。

問 緊急雇用創出事業の賃金は、道単価にならうべきと考えるが、現在の雇用労働単価で良いか。

答 大半が町の雇用というところで、従来の町の単価を維持しなければ臨時職員間で格差を生ずることになる。

農林

農業振興地域の整備計画について

館田 賢治議員

問 農業振興地域の整備計画の見直しの件は、その後どのようになってきたか。

答 標茶町全体の計画変更ということで、農地部分とか宅地部分とか、農地辺縁部だけを見直すことは、具体的手法としてはできないので

総体として早く見直しを行うことで、全体の作業のスピードイ化を考えている。

農地、水、環境保全向上対策について

平川 昌昭議員

問 農地防災事業の中で地域参加型の農村景観づくりの取り組みがなされ、一謔当り二千万円の支援がなされてい



昨年のいきもの調査のようす

る。町の政策として取り組んでいくべきと考えるが、どうか。

答 農地資源は環境も含め、受益者だけではできないので、中山間地域直接支払い制度をより充実させるほうが重要と考え取り組んでいる。中山間の交付金に比べ単価が低く取り組みづらいつとの実情がある。環境に対しては三年前から町内の小学校三校が参加しながら川のいきもの調査を実施している。